

平成 2 1 年度

《第 2 回》

国 語

時間 5 0 分， 1 0 0 点満点

受験上の注意

1. 解答用紙には、受験番号・氏名を記入してください。
2. 解答は、解答用紙の所定のところに記入してください。記入方法を誤ると得点になりません。
3. 試験終了の合図とともに、解答用紙・問題用紙とも提出してください。

郁文館中学校

一、次の文を読み、後の問いに答えなさい

「うちの孫は、もう漢字が読めるんだよ」と、おばあちゃんが **A** を張った。北京市朝陽区のマンションの入室——リビングのテレビには五輪の閉会式が **a** 映し出されているが、おばあちゃんは僕に孫の劉易航くんを自慢したくてしかたない様子だ。一歳九ヶ月の易航くん、確かにスゴい。漢字のカードを次々に指さして読んでいく（もつとも、こちらには平仮名がないのだから、どの子もいきなり漢字から覚え始めるのである）。

閉会式を自宅で見る人の姿を知りたくて劉さん宅を **b** オトズれたシゲマツ、最初は

① 思惑がはずれて少々がっかりしていたのだが、やがて、② この光景こそがフツの市民の五輪なのかもなあ、と思い直した。華やかな閉会式の映像がリビングを **c** 彩（いろど）っていても、わが家の主役は、素っ裸に前掛けだけの易航くん——それでいいんだよな、と思う。

易航くんのお父さんは五輪の警備 **c** タントウで、何ヶ月も前から休日返上で仕事に追われていた。過剰（かじょう）な警備体制や人権問題など、当局の **d** シセイに ③ 納得のいかないところはいくつもある。それでも、「とにかく無事に終わってよかったです」というお母さんの④ ほっとした笑顔を見ると、僕には何も言えなくなってしまうのだ。

実際、閉会式のファイナーレを飾る打ち上げ花火を **e** 眺（なが）める公園の人々も、道行く人たちも、表情は **B** だった。大会のホストをまつとうしたという晴れがましさはあっても、高揚感（こうようかん）よりもむしろ安堵感（あんどかん）の方がまさっているように、僕には見えた。

だが、北京のホストの仕事はまだ終わってはいない。九月六日には、パラリンピックが始まる。今度は、国家の⑤ 「威信」よりも人々の⑥ 「温かさ」をみせていただきたい。祖国を応援する大声援もいけれど、そっと差し伸べる手のひらのぬくもりだって忘れずに。だいじょうぶ、きつとできるさ。花火が終わって家路につく家族連れは、みんな、いい笑顔だったよ。

二〇〇八年八月二十六日付 朝日新聞 重松清「北京便り」

注

* 高揚感・・・気持ちが高まること強まること。

* 安堵感・・・気持ちが安心すること。

問一 傍線部 a、e のカタカナは漢字に改め、漢字は読みを答えなさい。

問二 空欄 A にあてはまる言葉を、体の一部を表す漢字一字で答えなさい。

問三 傍線部①「思惑がはずれて」の意味として最も適切なものを、次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 見間違いをして イ 見込み違いをして ウ 勘違いをして エ 普通とは違って
傍線部②「この光景」を具体的に表している部分を本文中から抜き出し、初めと終わりの四字をそれぞれ答えなさい。ただし句読点は含まないこととします。

問五 傍線部③「納得のいかないところ」とありますが、どういうところですか。それを具体的に示している部分を本文中から十二字で抜き出しなさい。

問六 二重線部「まつとうした」の意味として最も適切なものを、次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 引き受けた イ 成し遂（と）げた ウ 引き継いだ エ 辞退した

問七 傍線部④「ほっとした笑顔」とありますが、お母さんがほっとした理由を述べているものとして最も適切なものを、次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 易航くんのお父さんが、お給料をたくさんもらってることができたから。

イ 易航くんのお父さんが、休日返上で過剰な警備体制をしていたから。

ウ 易航くんのお父さんが、漢字のカードを次々に指さして読んでいくから。

エ 易航くんのお父さんが、何事もなく無事に帰ってきてくれたから。

オ 易航くんのお父さんが、閉会式を自宅で見ると人の姿を知りたかったから。

問八 空欄Bにあてはまる言葉を、次の中から選びなさい。

ア 穏やか イ 曇りがち ウ 厳しいもの エ 陰しいもの

問九 傍線部⑤「威信」傍線部⑥「温かさ」を言い換えている言葉を、本文中からそれぞれ抜き出さない。ただし⑤は十字以内、⑥は二十字以内で抜き出すこととします。

二、次の文を読み、後の問いに答えなさい

あと五分、もうすぐ帰りの会も終わりになる。

カンナは、体全体から力がわきあがってくるのを感じていた。早く、体育館へ行きたい。バドミントンのコートに立って、思いきりラケットをふりたい。

先生が前に立ち、礼をした。みんないつせいに動き始める。

カンナはかばんをつかむと亜矢に声をかけた。

①「亜矢！ はやくいこう」

カンナと亜矢は中学校でもまた、同じクラスになった。カンナが誘い、亜矢とバドミントン部に入った。

カンナは小学校五年生のとき、この町にやってきた。あのとき、はじめて声をかけてきてくれたのが亜矢だった。

「おまたせ」

カンナと亜矢は、走って体育館へ向かった。

渡り廊下をあたたかい風がふきぬける。遠くに見える信州の山々には、まだ雪が残っていた。

ふたりは運動着に着がえすると、ラケットをもってコートにたった。

体育館の高い天井をバックに落ちてくる、白いシャトルコックを、カンナのラケットがとらえた。

パーンと気持ちのいい音を響かせて、シャトルはネット越しに亜矢へともどっていく。

この一瞬が好きだ。

高く、遠くへ大きな弧をえがいて、シャトルをとばす。ハイクリヤーという、バドミントンの基本打法だ。

うしろで束ねたカンナの髪が、ハイクリヤーのリズムにのってゆれている。

シュツとラケットが空を切る音が耳元に起こる。

カンナは、落ちたシャトルをラケットの面ですくいあげた。はじめてバドミントンのコートに立ったとき、先輩が手でシャトルをひろわずに、ラケットですくってひろうのを見て、Aラケットが手のように見えた。

そんな動作を約一年たった今、カンナも **B** とできるようになっていた。次はドライブショットだ。ネット **C** の高さを、床と平行にシャトルがいたりきたりする。シャトルの飛ぶスピードはかなり速く、リズム a カンカクで打つ。

「はい、やめーっ。集合。 **D** するな、はやくしろ」

バドミントン部顧問の原先生こもんの声が体育館に響く。

「全員いるな。今日は大事な話をする」

ファイルを手先生は、男女入り交じったバドミントン部員たちを見わたした。

原先生は、数年前まで大学でバドミントンをやっていて、教科は数学を教えている。

大柄で、人気サッカー選手に似ていると評判だ。

ラケットを抱いて、カンナは亜矢と並んだ。ぼっちゃりと小柄な亜矢は、いっしょに並ぶと、ちょうどカンナの肩のあたりから上目使いにカンナを見上げる。丸顔にショートの手髪が似合っている。

「なんだろうね」

亜矢がつぶやく。

「うん」

カンナは、b キソク正しくラケットに張られたガットを、ギターの弦を鳴らすようににはじいた。

「ええと…みんなは四月から三年生と二年生になる。五月の終わりにある春の大会では、いよいよ主役だ。そこで、チームをきちんと c ヘンセイしたい」

② みんなの顔に緊張が走った。

高窓から入る西日が、床に d ハンシヤしている。

「男子は二年生全員で一チームだ。ダブルス二組は今のままでいく。問題は、女子なんだ」
バドミントンのチームは、ダブルスが二組とシングルスが三人でつくられる。女子は二年生が二人しかない。このペアは、もうすでに公式戦に出ていたペアなので、そのままだろう。

「一年生のペアにもう一組入ってもらわなければならない。それと、シングルスも一年生からひとり出てもらうことになる。個人戦は、二年生が中心だ。秋からは出て行こう。まずは団体だが、どうだ？」

横一列に並んだ四人の一年女子が、互いに顔を見合わせた。

梶ちゃんと桂がくつついて、肩を寄せ合った。

「梶と木下桂でペアか？ もうひと組は、岡田カンナと片瀬亜矢か」

亜矢とペアを組む？ カンナは不満だった。

強いペアを作るなら、カンナと梶ちゃんが組むのがいいはずだ。

「先生、待ってください」

カンナがいった。技術が今ひとつの亜矢と組めば、強いペアにはなれない。

「亜矢とカンナって仲よしなんだもの、いいじゃない」

梶ちゃんがいった。

「でもね…」

③ カンナは言葉につまった。

亜矢が何かいいたような顔でカンナを見つめた。カンナはそのとき、気がついた。自分は亜矢と組むことがいやなんだ。亜矢はそんなカンナの気持ちを感じたのだ。

それは、ふたりのあいだに起こる、小さな春の（ 1 ）のはじまりだった。
「まあいい。ダブルスはeアイショウもあるからなるべくみんなで納得して決めたい。しばらく考えてくれ」

④ 原先生はファイルに何か書くと、髪をかきあげた。

山崎玲子「風のシャトル」

問一 傍線部 a のカタカナを漢字で答えなさい。

問二 傍線部 ①「亜矢！ はやくいこう」とありますが、カンナのこの発言が具体的に行動となって表れている部分を本文中から十一字で抜き出さないさい。

問三 空欄 A ～ D に入る言葉を、次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア さらさら イ だらだら ウ しかし エ するり オ すれすれ カ まるで
問四 傍線部 ②「みんなの顔に緊張が走った」とありますが、ここから読み取れる気持ちとして最も適切なものを、次の中から選び、記号で答えなさい。

ア だらだらとバドミントンをしていて、原先生に大きな声で怒られたことに対する、全員のひきしまった気持ち。

イ 亜矢とカンナはバドミントンが好きで、どうしても大会に出たい気持ちがあり、原先生に選んでほしいと願う気持ち。

ウ 技術が今ひとつのカンナと組むと強いペアにはなれないので、どうしても亜矢とは組みたくないという気持ち。

エ 誰もが一生懸命努力をして大会に出たい気持ちがあり、いよいよこの時がきたという張りつめた気持ち。

問五 傍線部 ③「カンナは言葉につまった」とありますが、この時のカンナの気持ちとして最も適切なものを、次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 肩を寄せ合って座るほどの梶ちゃんと桂の仲の良さを見せつけられ、私と亜矢の仲の良さも原先生にわかってほしい、というくやしい気持ち。

イ 亜矢とカンナは元々仲があまり良くなく、梶ちゃんに無理にペアを組まされそうになり、困り果てた気持ち。

ウ 亜矢は技術が今ひとつで、強いペアを組むためには梶ちゃんとのペアが一番よいが、仲がよいので、なかなか言い出せない重苦しい気持ち。

エ カンナは元々仲の良い亜矢とどうしてもペアが組みたかったが、亜矢が不満を持っていることに気づき、言い出せないつらい気持ち。

問六 （ 1 ）には、これからの亜矢とカンナの関係を暗示する言葉が入ります。適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 桜 イ 温かさ ウ 陽射し エ 嵐

問七 傍線部 ④「原先生はファイルに何か書くと、髪をかきあげた。」とありますが、この時の原先生の気持ちを、四十字以内で答えなさい。